

I'm Here!

**KAYAMA**

本 社

〒456-0055 愛知県名古屋市熱田区南一番町15-5

本書に関するお問い合わせ先

[豊川本社]

〒442-0008 愛知県豊川市南千両2-67

TEL:0533-89-0375 FAX:0533-84-3739



◀ 詳細はWEBにて  
ご覧ください

60<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY

豊かな未来を目指す活動報告

# CSR報告書 2020

[ダイジェスト版]

[kayama-k.co.jp](http://kayama-k.co.jp)

加山興業株式会社

# 60<sup>th</sup> ANNIVERSARY

おかげさまで60周年を迎えることができました

## TOP MESSAGE



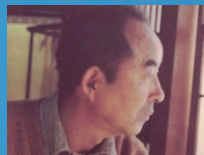
代表取締役  
**加山 順一郎**  
社長任期/2010年11月1日～

60年前、警察官だった祖父勇雄は高度経済成長の真つただ中にある日本の環境問題を危惧しました。そんな時代の中で加山興業が誕生しました。環境問題が深刻化し、環境法が制定されるに従い、最終処分業から中間処理業へ転換、時代の流れと共に新たなリサイクル設備を導入し、事業を拡張してきました。

お客様、地域の皆様、共に働く社員、社員のご家族様のご理解、ご協力のもと60周年を迎えられたことに改めて感謝申し上げます。次なる60年を見据えKAYAMA'DNAを策定いたしました。時代と共に変化してくる事業もあれば、変えてはいけないものもあります。「とっとも頑固なごみ屋さん!!」の理念を継承し、「緑あふれるクリーンな日常を世界に。」新たなビジョンに向かって邁進して参ります。



取締役会長  
**加山 昌弘**  
会長任期/2010年11月1日～  
社長任期/1978年4月11日～2010年10月31日



創業者  
(1951年 加山組(=現・加山興業)を創業)  
**加山 勇雄**  
社長任期/1961年11月1日～1978年4月10日

# KAYAMA'S DNA

加山興業は1951年に加山組として創業いたしました。創業者の加山勇雄は「廃棄物を適切に処理することが真に豊かな未来へ通じる道であり、よりよい環境を残すことが我々の使命である」と考えました。私共はその意志を受け継ぎ、環境保全を第一に考え、事業活動を行っております。

## VALUE 約束する価値・強み

1. 知識と見識
2. ホスピタリティマインド
3. 環境保全
4. R&D(研究開発)

## お客様への約束

わたしたちはお客様満足を目指し、快適な環境を創り出し、提供することが果たすべき使命であると心得ます。そして、それは未来も満たされるサービスであるべきです。わたしたちは常に知識を求め、学び、成長し、お客様の期待を超えるサービスを提供することをお約束いたします。また、お客様の信頼に応えるために、安全データの開示、法律・サービスに関する情報を適時適切にお客様にお届けします。

## 共に働く従業員への約束

共に働く従業員の皆様はビジョンの実現に向けて共に挑む同志です。志を同じくする皆様こそが加山興業において最も大切な財産であり、共に成長するパートナーです。多様性を尊重し、健康と安全に配慮した職場環境を整え、皆様とその家族の生活を守ります。個人を敬い、才能を最大限に伸ばすことができるように育成します。公平に活躍の機会を設け、公正に評価し、心身ともに健康で働きがいのあふれる職場を形成します。

## 社会への約束

わたしたちはライフラインの一端を担うものとして、存在できていることに感謝し、その感謝の気持ちを形にしてお返しします。環境と深く関わる事業であるからこそ全力をもって、環境問題解決と環境保全に努め、社員一人ひとりの意識を啓発し、サステナブルな社会の構築に寄与していきます。わたしたちは事業の枠に捉われず、良き企業市民として、意義ある社会事業や災害復興支援、文化・スポーツ支援、次世代育成、地域交流、国際貢献などの活動を積極的に行い、社会との共存・共栄を目指します。わたしたちは自然災害に備え、危機管理を徹底します。災害発生時には速やかに安全性を確保し、早期復旧に努め、備蓄倉庫の開放や非常用電力の供給などでできる支援を行います。わたしたちは社会から信頼される企業の一員として、法令を遵守し、安全管理を徹底し、誠実に事業活動を行います。

## VISION 実現すべき未来

**Our Planet, Our Home**  
緑あふれるクリーンな  
日常を世界に。

道しるべ

## MISSION 日々果たすべき使命

お客様満足を追求し、快適な  
環境を創造し、未来も満たさ  
れるサービスを提供し続ける。

仲間たち

## SLOGAN 合言葉・モットー

**I'm Here!**  
いつもそばに

アイデンティティ

## CREDO 大切にすべき精神

わたしたちは「緑あふれるクリーンな日常を世界に」のビジョンの下に志を一つにする仲間です。共に学び、共に成長し、共に楽しみ、共に喜ぶ。企業価値を高め、お客様に社会に家族に誇れる会社となります。ライフラインの一端を担うものとして、存在できていることに感謝し、社会の進歩発展に貢献します。わたしたちは役職、年齢、性別、国籍、その他個人を構成するものに左右されることなく、等しく、以下のクレドをもって、職務に従事します。

1. 貪欲に知識を求め、学び、見識を深めます。
2. すべてにおいて主体的に行動し、妥協を許さず、責任と喜びをもって従事します。
3. 心のこもったサービス意識を常に保ち、期待を超える行動で応えます。
4. 多様性を受け入れ、互いを尊重し、助け合います。
5. 感謝と尊敬の念を忘れずに、すべての人とモノに慈しみを持ち、環境へも最大限に配慮します。
6. 自らの成長が社会貢献へつなげると認識し、努力を惜みず、成長し続けます。
7. 未来への希望をもち、変化を恐れず、新しいアイデアの創出に挑戦し続けます。
8. 規律を守り、自らと周囲の安全性を確保します。

## Third-Party Opinion



## “自然災害対策プロジェクトの目指す姿”

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
三河支店豊橋支社  
支社長 **小野 真**

近年、日本国内では至る所で自然災害が多発し、台風や地震による被害が甚大なものと変化してきています。一度の災害で、広範囲かつ多くの人々の日常を奪ってしまう事はもちろん、避難を余儀なくされる方々の不安もはかり知れません。当社では、過去の自然災害を教訓として活かし、災害発生前から被災後までお客様を全力でサポートする体制を構築しています。

『防災Webコンテンツによる情報提供』や、リアルタイム被害予測WEBサイト『cmap.dev』による被害予測情報の提供、『LINEアプリによる事故連絡の受付窓口の事前案内』など、平時から防災や被害予測に関する情報を提供し、また万が一の際の連絡方法を案内する事でお客様に安心と安全をお届けします。

加山興業株式会社様は、防災への取組みにもご尽力されております。東日本大震災の際に、廃棄物の運搬支援をされたご経験から、トイレ問題にいち早く着眼され、トイレ関連を中心とした防災用品のお取り扱いをスタートされました。食料や水といった備蓄は真っ先に考えますが、非常時のトイレ問題というのは、個人が考えて解決するのは難しいものです。

『今、当たり前前かが未来も当たり前とは限らない100年先の未来を考える』事を体現されている加山興業様と、縁あって同じ地域で活動する我々も共に、先進性・多様性を発揮しながら課題解決に取り組み、さらなる地域密着の確立を目指して参ります。

# 市田プラント竣工

弊社は多種多様の廃棄物を一手に引き受け、再資源化、適正処理化を実現するため、新たに市田工場を設立しました。これにより日本国内の循環社会形成に貢献していきます。



## 会社情報

社名  
加山興業株式会社

代表  
加山順一郎

設立  
1951年11月1日

資本金  
5,000万円

本社所在地  
愛知県名古屋市熱田区南1番町15-5

事業所所在地

豊川本社	愛知県豊川市南千両2-67
千両リサイクルプラント	愛知県豊川市南千両2-1
市田リサイクルプラント	愛知県豊川市市田町蓮池20-2
大府営業所	愛知県大府市北崎町遠山244
岐阜営業所	岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通7-9 1号室

### 再生エネルギー拠点



度島エネルギーファーム  
(長崎県平戸市度島)



松阪エネルギーファーム  
(三重県松阪市)



## 豊川本社竣工

2019年10月に新社屋を設立しました。同社屋は環境に配慮した仕様となっています。社屋内は省エネルギー機器やエコ資材を利用しています。また、社屋内で使用する電力について、自然エネルギー由来の電気を積極的に採用しています。さらに、水を100%再生利用した環境にやさしいバイオトイレを導入しました。膜分離活性汚泥法による浸透膜とバクテリアの力によって、水を浄化し、トイレの洗浄水として再利用しています。これにより下水道につなぐ必要がなく、下水処理場の負荷低減に貢献しています。

## 事業紹介

### 産業廃棄物処理



収集・運搬  
中間処理・リサイクル

### 解体事業



### 環境ソリューション事業



PCB使用照明  
器具全数調査



片付けサービス



電力サービス  
GREENA



自動おしぼり  
ディスペンサー

事業特性を活かし、長野県豪雨災害ボランティアに参加しました



ecocloaker  
Ecology・Recycle



KAYAMA蜂蜜



防災用品



移乗サポート  
ロボット Hug

## 環境報告



### 海外環境問題解決貢献活動における焼却炉の譲渡式

2015年にラオスでの廃棄物処理の課題を確認し、弊社の技術が生かせるのではないかと考え、2016年に、独立行政法人日本国際協力機構（以下JICA）民間連携事業の「案件化調査」に採択されました。同スキームにおいて弊社は、ラオス人民民主主義共和国ビエンチャン市における医療廃棄物を中心とした有害廃棄物処理・管理改善に向けたODA事業に活用する可能性を検討し、ビジネスモデルの策定に係る調査を実施しました。

2018年には前述した「案件化調査」に続き、ODA事業の一環で「中小企業・SDGsビジネス支援～普及・実証・ビジネス事業」に採択されました。同スキームでは、実際に日本製の焼却炉を相手国政府に供与して、医療系廃棄物の適切処理の効果を検証しました。さらに現地政府機関や民間企業に対して分別や適正処理に関する普及啓発活動も実施しました。

このような活動を通じて、同国の廃棄物問題に貢献してきました。今後も引き続きラオス国における適正な廃棄物処理を推進していきます。



### JICA-SDGsパートナー制度の認定を受けました

2020年7月にJICAから「JICA-SDGsパートナー制度」の認定を受けました。この制度は、日本政府（SDGs推進本部）が決定するSDGs実施指針やSDGsアクションプランの一層の進展のため、JICAが創設した制度となっています。



弊社の廃棄物処理事業は、SDGs11「住み続けられるまちづくりを」に貢献します。今後も新興国の廃棄物管理事業について貢献できるように精進し、引き続きSDGsのさらなる貢献に努めて参ります。



SDGsの認知度向上を目指し、カードゲームセミナーを随時開催しています

データで見る事業活動  
廃棄物処理量 ▶



### 再エネ100宣言 RE Actionへ参加いたしました

再エネ100宣言 RE Actionとは、自治体・教育機関・医療機関等及び、消費電力量 10GWh未達の企業を対象とした、使用電力の再生可能エネルギー100%化に向けて共に行動を示していくイニシアティブです。弊社は、事業活動に用いる電力について自然エネルギーを活用した電力へとシフトし、2019年時点で電力使用の再生可能エネルギー80%~90%を達成しています。5年未満に再エネ100%を達成していく方針です。



二国間クレジットJCM制度が採択されました

ラオスにて14MWの太陽光発電を展開します。

千両リサイクルプラント  
焼却炉・燃え殻の環境測定結果 ▶



## 社会性報告

### ミツバチプロジェクト KAYAMAファーム

ミツバチは約半径3km以内の花や樹木に影響を受ける繊細な生物です。仮に環境に負荷がかかっている場合、ミツバチは生存できる環境とみなさず活動しません。ミツバチが敷地内で生き続けている事は、当社の事業活動が負の影響を及ぼすことのないように運営できている点を証明しています。

2014年にはミツバチ3群の養蜂を開始しました。現在は25群にまで増えました。

また、採集イベントを開催し、地域住民や子供達に実際の採集を体験し、食の大切さ、安全性や生態系と環境の関連性を勉強する機会を提供しています。

※今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、社内スタッフのみでハチミツの採集会を開催しました。



ハチミツの分析結果

### 環境授業



参加生徒数  
1,068名

「未来」を創る子供たちへ、ごみの削減・分別に取り組むことで循環型社会が形成され、更に低炭素化につながる取組を啓蒙し、次世代へ繋がる取組を推進しています。

2012年から地元小学校の4年生を対象に、出前環境授業を開始しました（当時2校）。授業は2時間編成で、1時間目は当社のパッカー車の見学、ごみ収集体験の機会を提供しています。2時間目は、ごみの量の把握、分別の重要性についての座学で、より楽しく学習できるようにクイズやゲームなどを取り入れています。今年度は10校（1,068名）実施しました。

今後もさらに活動を推進していき、一人でも多くの生徒が循環型社会や低炭素社会に興味を持てるように努めて参ります。

### 工場見学

学生・国内外の団体の工場見学を受け入れています。



### みどりの図書

地元小学校へ環境に関する本を寄贈しています。



### インターンシップ

今年より海外からの学生のインターンシップの受け入れを開始しました。



## 従業員との関わり

### 労災事故体験講座



安全衛生教育の一環として労災事故防止にかかる事例などを全社員にて積極的に取り組んでおります。

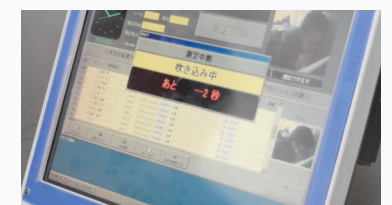
### 消火訓練



迅速かつ適切に初期消火ができるように消火器・消火栓の取り扱い訓練を防災業者の協力のもと年3-4回実施しています。

年間  
3~4回  
実施

### アルコールチェック



飲酒運転事故予防のため、高性能アルコール検知器を設置しています。出社時にはドライバー全員がチェックを実施しております。